

新公立病院改革プラン 令和2年度実績報告（浜松医療センター）

1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

（医療機能等指標に係る数値目標に対する実績）

医療機能等の指標	令和2年度 目標（A）	令和2年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
救急車受入患者数	6,200人	5,558人	△642人	89.6%
分娩件数	1,300件	653件	△647件	50.2%
紹介率	80%以上	73.2%	△6.8ポイント	—
逆紹介率	70%以上	90.2%	20.2ポイント	—
その他				
入院患者満足度	86.0%	87.4%	1.4ポイント	—
外来患者満足度	83.0%	81.0%	△2.0ポイント	—

- 救急搬送受入患者数は、新型コロナウイルス感染症の拡大から、外出自粛や他者との接触の減少につながったことなどにより、救急患者が減少し、目標値を642人下回った。
- 分娩件数は、市内出生数の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による里帰り分娩の制限などにより、目標値を大幅に下回った。
- 紹介率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症疾患等の紹介患者が減少し、目標値に6.8ポイント届かなかった。逆紹介率は、院内で診療情報提供書の記載を周知徹底させたことにより目標値を20.2ポイント上回ることができた。
- 入院患者満足度では、病室の広さやトイレなど施設に対する満足度や入院生活に対する満足度が相対的に低く課題となっているが、総合的な満足度は目標値を達成した。外来患者満足度では、受付・看護師の対応に関する満足度が向上したものの、新病院整備に伴う外来駐車場に対する満足度が相対的に低く、目標値を2.0ポイント下回った。

2 経営の効率化について

（経営指標に係る数値目標に対する実績）

収支改善に係る指標	令和2年度 目標（A）	令和2年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
経常収支比率	104.6%	103.9%	△0.7ポイント	—
医業収支比率	96.2%	89.3%	△6.9ポイント	—
経費削減に係る指標				
給与費対医業収益比率	51.6%	55.2%	3.6ポイント	—
材料費対医業収益比率	24.7%	29.4%	4.7ポイント	—
収入確保に係る指標				
入院患者延べ数	189,435人	169,813人	△19,622人	89.6%
入院診療単価	60,000円	67,213円	7,213円	112.0%
外来患者延べ数	230,850人	228,846人	△2,004人	99.1%
外来診療単価	15,200円	18,885円	3,685円	124.2%
病床利用率	86.5%	77.4%	△9.1ポイント	—
経営の安定性に係る指標				
医師数	151人	165人	14人	109.3%
企業債残高	10,385百万円	9,341百万円	△1,044百万円	111.2%

- 収支改善に係る指標は、診療報酬加算の新規及び上位基準の取得等により、収入の増加を図ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響による入院・外来収益の減により目標値を下回った。
- 経費削減に係る指標は、新病院開院に向けた職員の増、高額医薬品の保険適用による材料費の増などにより、目標値を下回った。
- 入院患者延べ数は、新型コロナウイルス感染症患者専用の病床を設定したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による救急患者や紹介患者の減少により、目標値を下回った。

3 再編・ネットワーク化について

- 西部構想区域内では、特定機能病院及び地域医療支援病院における二次・三次救急医療体制が整備され、病院が連携し、それぞれの機能を有効に発揮している。

4 経営形態の見直しについて

- 指定管理者（医療公社）により、効率的な運営が行われていることから、引き続き指定管理者による運営を行っていく。